

平成23年度大杉公園祭式次第

- 1 一同着席
- 2 神官入場
- 3 一同一揖（敬礼）
- 4 祭典開始の詞
- 5 修祓（一同低頭）
- 6 斎主祝詞奏上（一同低頭）
- 7 五條墓掌奉告文奏上（一同低頭）
- 8 祭主祭詞を奉る
- 9 謹みて玉串を奉りて拝礼
- 1 0 八女市長挨拶
- 1 1 （イ）来賓代表祝辞
（ロ）祝電披露
- 1 2 神事奉納
（イ）公卿謡
（ロ）浦安の舞
- 1 3 五條墓掌挨拶
- 1 4 一同一揖（敬礼）
- 1 5 神官退場
- 1 6 祭典終了の詞
- 1 7 直会

後征西將軍良成親王御陵墓

良成親王は、第九十七代後村上天皇の第六皇子で正平二十二年（一三六七年）僅か五、六歳にして、叔父君の征西將軍懷良親王の留守居役として太宰府へ下向されてきた。

それから、八年後の天授元年（一三七五年）十四歳の頃、懷良親王から將軍職を継がれ、後征西將軍となられ、菊池氏一族と南朝再興のため一時勢力を上げられたが、菊池城が落城してからは居城の染土城をあとにされ、深山の「たけの御所」に移られた。

その後、八代の奥にある「高田の御所」に移られ、元中八年に五條頼治を頼られ、天險要害の地である矢部のこの大杉の地に在所された。

南北朝統一後も南朝再興をはかられたが、元中十二年御齡三十五歳の年頃でこの地「大杉御所」にて再興の願い虚しく、亡くなられた。

明治十一年五月、宮内庁よりこの地を御墓所として御治定となった。